

分野 分野基礎分野・科学的思考の基盤			
科目名 地域・在宅看護概論		単位 時間	1単位 15時間
講師名 田中 敏子		開講時期 1 年次後期	
授業概要 地域・在宅における看護は人々が地域において自分の望む暮らしを送ることができ、病気、人生の最終段階においても対象が望む暮らしを支える看護である。この科目では地域・在宅看護の基本的な考え方と暮らしの基盤としての地域の理解について学ぶ		実務経験 専任教員／医療機関において看保健師として勤務	
到達目標 1.看護の対象を生活者として理解し暮らしと健康について意見を述べるができる。 2.地域・在宅看護の基盤となる考え方を説明することができる。 3.地域在宅看護が重要視されている背景について述べるができる 4.地域包括ケアシステムについて説明できる。 5. 地域について調査を行い人々の暮らし、健康について考えることができる。			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
○ 1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。			
○ 2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。			
○ 3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。			
◎ 4. 保健・医療・福祉システム及び多職種の役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。			
◎ 5. 看護への探求心をもち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。			
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	人々の暮らしの理解・地域・在宅看護の役割	講義・ポストテスト	
2	地域包括ケアシステム、地域共生社会	講義・ポストテスト	
3	暮らしの基盤としての地域の理解 調査テーマの決定、方法	講義・演習	
4	フィールド・ワーク 身近な現象から暮らしと地域のかかわりをイメージする	講義・演習	
5	フィールド・ワーク	演習	
6	地域の課題、健康な生活について考える	G・W発表	
7	暮らしを支える地域・在宅看護	講義・ポストテスト	
8	暮らしを支える地域・在宅看護	講義	
	試験		
受講上の注意 4回目、5回目は14時から17時の時間になります。あらかじめ調整しておいてください。			
評価方法 ポストテスト15点 演習への取り組み10点 フィールドワークレポート20点 筆記試験55点			
使用するテキスト 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 2022			
参考文献 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 2022 公衆衛生がみえる メディックメディア 2022-2023			